

# 社会福祉法人 本郷の森 令和2年度 事業報告書

## 『本富士生活あんしん拠点』

### (本富士地区地域生活支援拠点事業)

#### ● 事業実績

##### ・相談

3月末現在、これまでの相談利用者総数は47名。障害種別では重複などもあるが、ほとんどが精神、あとは軽度知的の方など。相談者のうち定期的なつながりがある方は20名程度で、アクティブな支援が必要な方は10名程度。

基幹相談支援センターやあかりなどから新たな紹介もあり、利用されている方は増えてきている。支援も来所や電話相談だけではなく、訪問や同行などアウトリーチが増えている。関わりの中で、中々変化や改善がみられないケースもあり、支援の難しさや支援する側の力量が求められていると感じている。

他機関が連携しているケースも多く、多様な支援のかたちの中で、拠点の役割を見出していくことが必要になる。

##### ・地域づくり

本富士地区に新しく多機能な地域の居場所「Re なでしこ元町」が立ち上がり、拠点はコアメンバーとして活動に関わらせていただくことができている。12月には周知目的の作品展イベントが開催され、本郷の森などの障害福祉サービス等の利用者にも準備の一部の手伝いや作品を出してもらうなど、当事者の活躍の場を提供することができた。一方で、コロナウイルスの影響で、地域のイベントの中止が相次ぎ、地域づくりの活動はかなり限定的になっている。

また、包括や社協と顔が見える関係ができつつあり、障害が関わっていると思われるケースの対応について意見が求められることが多くなってきており、コンサルテーションの立場をとりながら、地域の相談体制を強化していく役割も求められていると感じている。

##### ・その他

来年度より他地区にも拠点事業が開始されるにあたり、研修等の企画や拠点の取り組みについて、本富士地区の実績を踏まえての意見交換をし、他地区の拠点事業整備に向けて進めている。

#### 参考

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談・同行・訪問	66	94	89	108	52	94	121	97	80	88	77	104	1070
関係機関連携	50	59	102	54	60	148	98	100	134	98	118	124	1145

## ● これから

来年度より駒込地区(エナジーハウス)、富坂地区(あかり)の拠点事業が開始されることになっており、4地域中 3 地域に整備される。開所に向け、先行事例である本富士地区の取り組みを評価し、拠点同士の横のつながりもさらに強化していきたい。

また、ひきこもりケースについて、区にも関係する窓口があり、拠点との役割分担などを検討していきたい。社会福祉協議会の権利擁護部門も来年度より地区別となり、家族亡き後の相談などで連携を取っていくケースも出てくることが予想される。

地域づくりについて、依然コロナウイルス感染症の影響が続く中で、町会や地域の活動が限定的になることが予想される。コロナ禍においても地域で気軽に相談しやすい体制を地域の居場所と連携していきたい。また、他機関・他拠点と研修などで地域の相談体制を強化できるような取り組みを模索していきたい。